

「水防災プロジェクトin白川」を開催。（熊本市）

沿川自治会長等が多数参加し、熊本市街中心部の浸水深を確認しました！！

- 地域住民の防災意識の高揚を図り、**自助・共助を基本とした地域防災力の向上**を目的として**水防災プロジェクトin白川を開催**（H29.1.29）。
- 白川沿川の自治会長や自主防災クラブの方々（約80名）**が参加し、自助・共助の先進的な取組を実施している向山地区の事例紹介や講師-インストラクター藤原氏による**講演会**、熊本市街部の**浸水深を確認する街歩き**、白川・緑川の**地震復旧工事箇所等の現場見学会**バスツアーを行いました。

日時：平成29年1月29日（日）
 場所：熊本駅前(くまもと森都心プラザ)ほか
 内容：講演会、炊き出し訓練、現場見学会
 主催：NPO法人白川流域リバーネットワーク
 水防災実行委員会
 (国土交通省熊本河川国道事務所、
 立野ダム工事事務所、熊本県、
 熊本市)

講演会

熊本市、向山校区自治協議会、NPO法人広域防災水難救助捜索支援機構がそれぞれの視点で講演。自助・共助について学びました。



▲向山校区自治協議会 発表

炊き出し

自助・共助意識の高い小島校区の方々が炊き出し訓練を実施し、参加者へ昼食として提供しました。



▲小島校区自主防災クラブによる炊き出し

現場見学会

参加者約80名が4班に分かれバスツアーを実施。白川・緑川堤防熊本地震復旧**工事箇所**、熊本県激甚災害対策特別事業箇所等の現場見学のほか、熊本市街部約1.5kmを実際に歩きながら、浸水深表示板やマンホールトイレ、緑の区間の河川改修方法等についても現場説明を行いました。



▲昭和28年の白川大水害の実績浸水深表示板をPR



▲熊本県激甚災害対策特別事業箇所（龍田陣内）

アンケートの結果、**約9割以上の方が、「大変役立った」、「役立った」と御回答**され、大変好評でした。

～参加者の感想～

- ・浸水深の存在を知ることができ、よかった。
- ・防災に役立つ知識を得ることができた。
- ・普段見ることのない現場を見ることで、どのような工事をしているのか、理解できた。
- ・若い人が参加するような内容も実施してほしい。